

早稲田 表象・メディア論学会 2023 年度活動報告

早稲田 表象・メディア論学会

第 26 回研究発表会・総会

日時：2023 年 6 月 17 日（土）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36 号館 3 階 AV2 (382) 教室

プログラム：

総 会 13:00～13:30

研究発表

13:40～14:35（発表 40 分、質疑応答 15 分）

香月 恵美子（本学博士課程）

「宝塚における「黒塗り」化粧の考察」

13:40～15:35（発表 40 分、質疑応答 15 分）

高橋 倫夫（本学博士課程）

「遺影前史——19 世紀日本における死者の像」

特別企画

15:50～17:50

「宮沢章夫のしごとなのだ」

司会：岡室 美奈子（本学教授）

第 27 回研究発表会

日時：2023 年 11 月 26 日（日）13:30～17:50（13:00 受付開始）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36 号館 6 階 681 教室

プログラム：

研究発表

13:30～14:25（発表 40 分、質疑応答 15 分）

馬場 靖人（日本学術振興会特別研究員 PD）

「J・シュティリングのカント解釈——色盲理解の認識論的基盤としての超越論哲学」

14:35～15:30（発表 40 分、質疑応答 15 分）

直江 早苗（本学博士課程）

「『病める舞姫』記憶とイメージの交差点——記憶とイメージの交差点
では、何が生じ、混合され、何が破壊されたのか」

15:40～16:35（発表40分、質疑応答15分）

徐 舒陽（本学博士課程）

「中国におけるアニメの受容状況を字幕から考える」

講演

16:50～17:50

溝口 彰子（本学准教授）

「ゲイ映画と実写BLが合流する地点：「子供」に同性愛者をエンパ
ワーするメッセージを届けることを優先する新潮流？」

2023年度 大学院表象・メディア論コース 学位論文題目一覧

修士論文

- 新井ちひろ 忘れられた変容——台本・批評・ジュスタマン舞踊譜からみる19世紀ジゼル像、およびガリーナ・ウラノワにおけるその転換の考察
- 荒川 宗佑 精神科訪問看護の支援実践と電子カルテの設計に関する質的研究
- 華 嘉莉 「悪女」という記号——松本清張作品を中心に
- 金 佳熹 2020年代の音楽受容——BTS から見るオンラインを活用したライブ空間の拡がり
- 孫 定康 アニメの「乏しさ」
- 吉村 佳純 人と音声で相槌を打つbotとの「間合い」のインタラクション研究

博士論文

- 菊地 浩平 テレビ論としての初期連続人形劇——諸作品における人形劇団のかかわり及びそのテレビ史的意義に関する研究
- 辻 佐保子 ベティ・コムデンとアドルフ・グリーン作品における攪乱の劇作法——ラジオ、テレビ、そして舞台ミュージカルの交錯